

広報



きたやま

2006  
5月号 No.195

●●●主な内容●●●

- ◎平成18年度施政方針
- ◎平成18年度当初予算の概要
- ◎写真館
- ◎各種お知らせ
- ◎新・村民登場(第3回)
- ◎わかりづらいゴミの分別③

《村の人口》

(平成18年3月末現在)

人口 532人 (-16)

男 251人 (-8)

女 281人 (-7)

世帯数 279戸 (-7)

※ ( ) は前号比



# 平成18年度 施政方針

北山村長 奥田 貢

平成18年度の村政を運営するにあたりまして、その基本となる施政方針について申し上げます。

わが国経済の回復もようやく明るい展望が開けてきたという状況になってきたと言えますが、昨年度は、三位一体改革に始まり、郵政民営化に伴う解散総選挙等と大変な年度でありました。

また、市町村合併の最終年度として数多くの市町村合併が成し遂げられ、この3月で和歌山県内の市町村も8市21町1村の30自治体となりました。

今後の合併をめぐる情勢としましては、過日、和歌山県が第二次合併の枠組みを発表したことからさまざまな状況変化も生じると思われますが、大切なことは、「合併する」、「合併しない」にかかわらず、北山という地域は存続し続けるということであり、北山という地域を私たちが自らしっかりと守っていくということであります。

このような観点から今後とも北山村の将来を見据えた行政の運営に最大限の努力をしてまいりたいと考えております。



北山村役場

## 行財政改革と今後の 行政運営等について

行財政改革については、平成17年1月から北山村行財政改革方針に基づき実施をしてきております。

基本方針としては、「医療福祉の充実と存続を図り、住民の安全と安心を守る」、「地場産業の活用と若者定住施策を継続し、自らの地域は自らが守るといふ自立精神に立った地域づくり」を掲げて北山村の再生に取り組むこととしております。

三位一体の改革が進められ地方交付税が減少する中で、「合併する」、「合併しない」にかかわらず、まず北山地域をどう守っていくのか、という観点から諸施策を進めます。しかし、平成18年度の地方交付税については、一定額が確保され、大きな削減はないとされておりますが、平成19年度からは大幅な削減が見込まれる状況であり、総合的に判断すると行政改革を推進したとしても決して安易に財政運営ができる状況ではなく、このような状況が続く限り長期にわたって単独行政を維持できる状態ではないと考えております。

和歌山県の発表した第二次合併構想によると、北山村は新宮市と東牟婁郡全部の1市4町1村が合併するというものであります。

今後、国の財政状況や県の合併推進の動きを受けて、議論していく必要がありませんが、重要なことは、状況を十分に理解し、次に来るべき動きに対して将来を誤ることのない対応をしていくこととあります。

行財政改革等により一定期間は財政運営が可能であると考えておりますが、新合併特例法の平成22年3月

という期限も考慮に入れながらしっかりと議論し、住民の方々と一致協力して北山村の将来を構築していくことが重要であると考えております。

また、住民の安心安全という観点からは、近い将来に発生するとされる南海・東南海地震についての対策も重要なことであります。公共施設の耐震診断の結果に基づき、その対策をおこないますが、まず緊急を要するものとして学校関係の耐震対策に着手しております。

その他、避難場所となる施設等の改修や地震災害の状況によっては各地区が孤立するようなことも十分に予測されるため、一時期各地区ごとに住民の救助等の活動を行うこととなるような状況をも考慮に入れた形の防災計画の見直しも早急に必要なあります。

### 医療福祉の充実について

北山村における高齢化率は、43%以上と超高齢化を迎えており、よって医療福祉の充実が重要な課題であります。

昨年10月から単独事業として実施している介護保険事業については、単独運営をするには大変厳しいものがあります。平成18年からの一号被保険者の基本介護保険料も月額4,400円と大幅な値上げとなりますが、皆様のご理解をお願いするものであります。



診療所・高齢者福祉センター

今後、介護保険制度が改正され、介護予防が重要視されてきますが、北山村においてもまさに介護要望の必要性を認識しております。このような観点から、現在おこなっております「シニアエクササイズ」は、受講された方々からも非常に評判も良く、終了後の判定では全員が体力年

齢の若返り効果があったように聞いておりますので、今後も積極的に参加いただき介護予防に努めていただきますと思います。

また、平成18年4月からの「包括支援センター」の設置や障害者自立支援法の制定などに伴い、新たな福祉事業への取り組みが始まり、地方行政に対する役割、業務が増大しており、限られた職員の中でこれら業務を遂行していかなければならず、住民の皆様時に不便やご迷惑をおかけすることもありますが、ご理解とご支援をお願いするものであります。

### 地域活性化について

「じゃばら」を北山村の特産物として売り出して以来20有余年、この間、積極的にPRや販売活動に努めてまいりましたが、昨年度の売り上げは2億円を超えるものと成長しました。現在は、じゃばらの高級ブランド化を進めるべく、経済産業省の推進する「地域ブランド」を獲得する作業中であり、また食品以外の製品開

発も進めるなど、今後の更なる発展を目指して積極的に展開しているところであります。



道の駅・おくとろ温泉

基幹産業である林業は、非常に厳しい状況にあることは承知のことですが、一方では、この豊かな自然を守り、後世に引き継いでいくということも大きな課題であり、この豊かな自然と共生した観光産業を守り育てていくことも重要な施策の一つであります。

一昨年の7月に「熊野古道」が世界遺産に登録されたことを契機として、これまで以上に近隣市町村とも連携を深め、北山地域の観光振興に取り組んで行きたいと考えておりま

す。  
 「観光筏下り」は、北山村の観光産業の大きな目玉として定着し、昨年度は、過去最大の集客数9,287人を記録いたしました。

筏師の後継者事業についても、森林組合等の協力をいただきつつ、仕事の確保や組織体制の確立などの課題に取り組んでおり、今後とも関係機関の皆様のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

これら北山村の基幹産業である「じゃばら」、「観光筏」、そして「おくとろ公園」、「おくとろ温泉」は、北山村の産業として地域住民が力を合わせて守り育てていくことが重要であります。そのためにはどのような手法が良いのか、地域に根付いた民営化なども含めた検討を現在進めておるところであります。検討内容につきましても、節目節目に係関係機関と協議し、また住民の皆様にもお伝えしたいと考えております。地域活性化や地域振興は、何といたしても地域の皆様のやる気と熱意が大事であります。民間主導により創意工夫のある活性化に取り組みべく、住民の皆様のご理解とご協力をお願い

いするものであります。

### 社会基盤の整備促進について

産業観光の発展、医療福祉の充実、安全・安心の確保、広域行政の推進等すべての基礎は交通アクセスの改善にかかっております。国及び県とも厳しい財政状況であります。地域の実情や道路整備にかける地元の熱い思いをご理解いただくため、要望活動をはじめ種々の取り組みをしており、今後も引き続き周辺市町村とも連携しつつ、より一層の努力をしてゆく所存であります。



国道169号七色地内



北山中学校

### 教育と教育環境充実について

将来を担う子供達の教育については、現在の教育環境に甘んじることなく、より一層の充実に努めます。子供の教育は、社会全体として対応していくことが重要であり、学校と家庭とが教育の両輪として機能することが肝要であります。村といたしまして、社会教育として休日の活用等種々の施策を講じてきましたが、今後も教育の充実に取り組んでいき

ます。

平成18年度の大きな課題としましては、なんといっても学校の耐震対策であります。

小学校の新設移転については、現在、詳細設計を行っているところでありますが、その結果を受けていよいよ本工事に着手する予定であります。

中学校の耐震補強についても早急に計画を煮詰めて実施していきたいと考えております。

また、子供たちもクラブ活動をはじめジュニア駅伝大会に出場するなど、少人数であるが元気に活動しております。今後も生徒諸君の活動をしっかりと支援していく所存であります。

以上、平成18年度の村行政を執行していく上における方針の大きな課題に絞って述べさせていただきました。

申すまでもなく、一般行政経費の削減等につきましては、職員一丸となつて今後とも取り組んで参ります。皆様のご理解とご協力をあらためてお願い申し上げます。

## 当初予算比較表

会計別	平成17年度	平成18年度	対前年度比
一般会計	9億3,126万円	9億1,890万円	1.3%減
国民健康保険特別会計	8,346万円	1億0,083万円	20.8%増
老人保健特別会計	9,417万円	1億0,531万円	11.8%増
介護保険特別会計	926万円	7,859万円	—
簡易水道特別会計	1,499万円	1,768万円	17.9%増
地域振興特別会計	2億6,792万円	2億6,790万円	0%
国保直営診療所特別会計	8,694万円	8,872万円	2.0%増
合計	14億8,800万円	15億7,793万円	6.0%増

# 平成18年度 当初予算の概要

平成18年3月村議会定例会において、平成18年度の北山村一般会計予算及び各特別会計予算が提案、可決されました。

一般会計の予算額は、9億1,890万円と昨年度に比べて若干低く抑えられましたが、特別会計においては、地域振興特別会計を除く4つの特別会計で2%から20%の増となっております。

また、介護保険特別会計については、初めて1年間の予算が組み入れ、その額7,859万円となっております。

一般会計及び特別会計の予算総額は、15億7,793万円と昨年度に比べ6%の伸び率となっておりますが、本格的な通年予算となつた介護保険特別会計を差し引きますとほぼ横ばいの予算総額であるといえます。

## 平成18年度一般会計当初予算の歳出構成比

性質別	歳出項目	金額(万円)	割合(%)	割合(%)
義務的経費	人件費	17,703	19	50
	扶助費	2,962	3	
	公債費	26,006	28	
消費的経費	物件費	14,532	16	28
	補助費等	5,148	6	
	その他	5,085	6	
投資的経費	普通建設事業費	20,454	22	22
計		91,890	100	100

平成18年度の一般会計予算は、昨年度に比較して金額で約1,236万円、率にして1.3%の減額予算となっております。

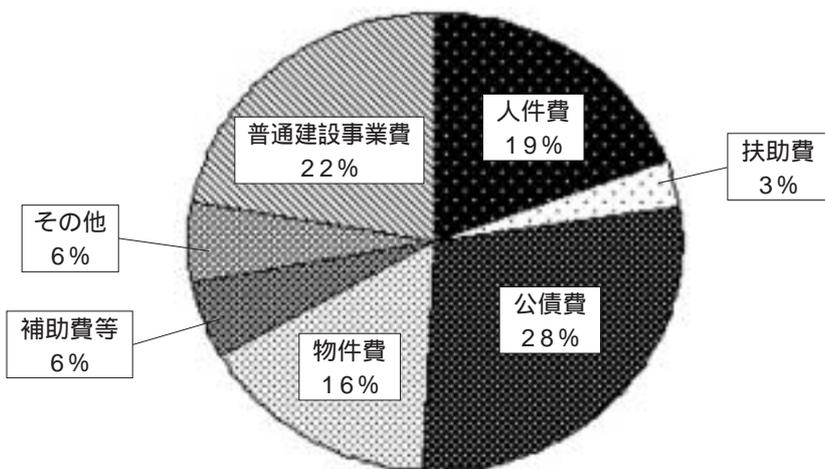
歳出の性質別による構成比は、左記の表のとおり、人件費、公債費等の義務的経費が半分を占め、

### 一般会計当初予算の概要

平成18年度の一般会計予算は、昨年度に比較して金額で約1,236万円、率にして1.3%の減額予算となっております。

物件費、補助費等の消費的経費が3割弱、ハード面での村づくりといえる投資的経費が2割強という状況です。

普通建設事業費の主な内容としては、林道出谷線開設工事4,730万円、村道上滝下滝線改良整備工事4,679万円などとなっております。



# 写真館

## 中学校卒業式



→左から順に  
浦畑 梨香さん  
下山和香奈さん  
谷本 千夏さん  
中瀬古 ゆいさん  
福岡 祐希さん  
三浦 理枝さん  
山口 春紀さん

→左から順に  
● 尾中 菜月さん  
久保 直也くん  
中 康之くん  
中瀬古 大くん  
南 貴恵さん(育生町)

## 中学校入学式



## 小学校入学式



→左から順に  
● 泉家 有希くん  
藤森 達也くん

# 駐車違反の制度が変わります!

平成18年6月1日から、道路交通法が改正され、新たな違法駐車制度の運用が始まります。

## ≡ 新駐車制度の概要 ≡

1. 車両の所有者などを対象とした放置違反金の制度が導入されます。
2. 放置違反金を納付しないと車検が受けられなくなります。
3. 放置違反金を滞納した者は、滞納処分による強制捜査の対象となります。
4. 常習違反者には、車両の使用制限命令が出されます。
5. 放置駐車違反車両は、駐車長の短にかかわらず取り締まります。
6. 民間の駐車監視員が放置駐車違反の確認を行います。



### 「北山保育所の入園式」

杉浦 琉空(りく)くん  
 杉浦 咲空(さく)くん  
 泉家 茉依(まい)ちゃん

6月の行事予定

5月の行事予定

観光筏下り開航式  
 5月3日(祝)

基本健診

6月3日(土)、4日(日) 予定  
 高齢者生活福祉センター

行政なんでも相談

6月12日(月) 13時~15時

北山村民会館

## 最低賃金って いくらかな?

「和歌山県最低賃金」については、昨年10月から次の額が適用されています。

時間額 649円

### ■注1

最低賃金は、常用労働者のみでなく、臨時・パートタイマーなどにも適用されます。

### ■注2

最低賃金の賃金には、時間外労働等に対する割増賃金や精皆勤手当、通勤手当及び家族手当などは含まれません。

### ■注3

鉄鋼業や百貨店、総合スーパーの最低賃金については、別に産業別最低賃金が適用されます。

## ご案内

- ◆北山村役場 0735-49-2331
- ◆観光センター(道の駅) 0735-49-2324
- ◆北山村販売センター 0735-49-2037
- ◆北山村診療所 0735-49-2114
- ◆北山村社会福祉協議会 0735-49-2090
- ◆おくとろ温泉 0735-49-2575

- ◇発行 北山村 519-5603 和歌山県東牟婁郡北山村大沼42
- ◇編集 総合政策課一般行政グループ
- ◇北山村ホームページ <http://www.vill.kitayama.wakayama.jp/>

# 新

# 村民登場

(第三回)

教えてください

Q お名前と、よろしければお歳、家族構成を教えてください。

A 上林正芳(しんばやし まさよし)37歳。独り暮らしです。

Q お仕事は何をされていますか？

A ふるさと振興公社で、夏は筏師、冬は林業に従事しています。

Q お住まいは？

A 大沼の村営住宅に住んでいます。

Q ご出身はどこですか？

A 現在は、合併して有田郡有田川町になっていますが、合併前の有田郡清水町の出身です。

Q 北山村にいられてからどのくらいですか？

A 今年で8年目になります。

Q 住んでみて、北山村の感想はどの様ですか？

A 季節に応じた食材が山から川から取れ、いろいろなところだと思います。

Q ところで、趣味は何ですか？

A ドライブとグルメ旅行です。

Q では、休日はどの様に過ごされていますか？

A 体がしんどい時は家で寝ています。そのほかは、車でお出かけを行っています。

Q ご自分の性格を一言で言うと？

A 一言で言うと、だるい愛蔵の昔。

Q 最後に、これから北山村の魅力を教えてくださいませんか？

A どこに行くのも道が狭いので広げてほしいです。



## わかりづらいゴミの分別

シリーズ③

ちょっとした手間を惜まず、正しく分別してきちんと出してください。

今回は、「送られてきた冊子」→

読んでないけど、雑誌類としてそのまま出しているの？



答えは、

**ビニール袋は、必ずはずして、雑誌類で出してください。**

- ビニールなどは、リサイクルできませんので必ず取り除いてください。
- はずしたビニールなどは、燃えるゴミと一緒にしてください。